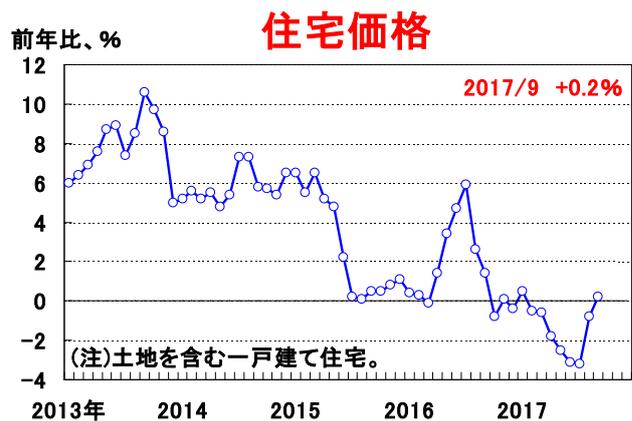
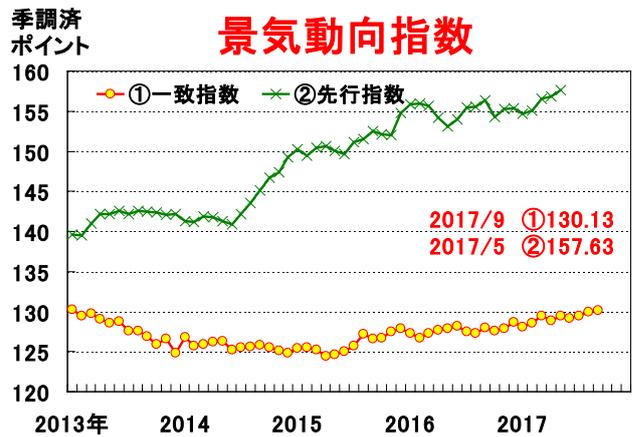
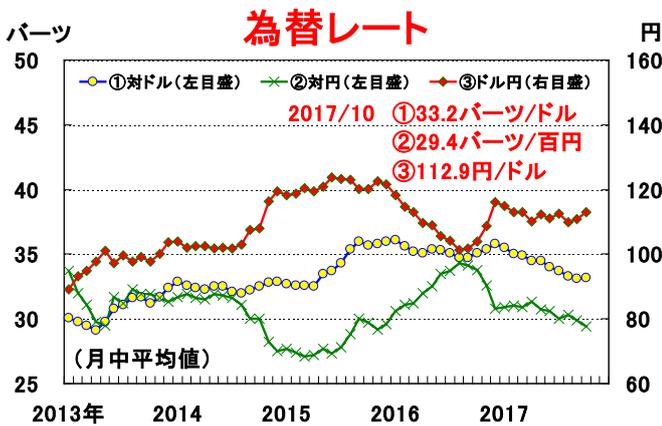
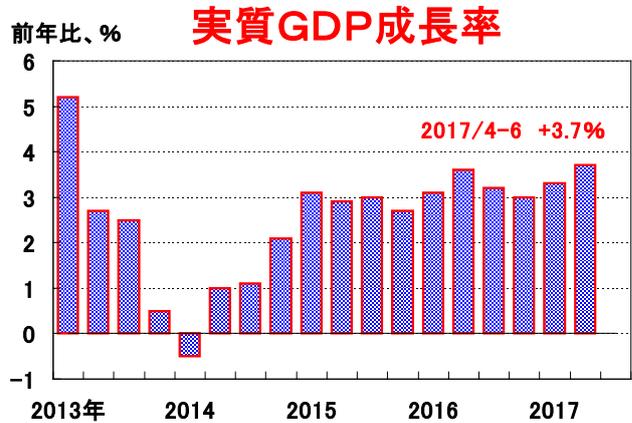
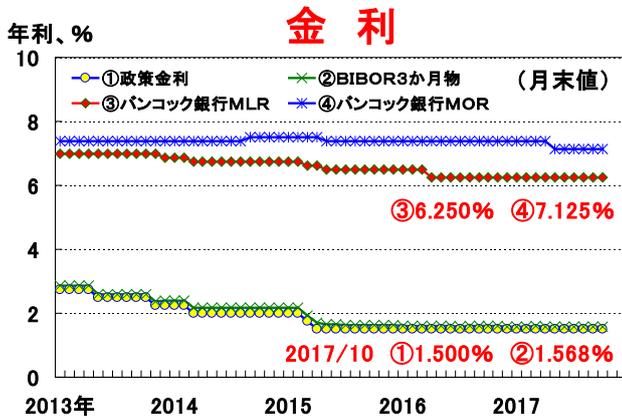


グラフで見るタイ経済 2017年11月号(No. 101)

タイ景気は回復基調にある。9月の経済指標をみると、輸出は前年比+12.2%と5か月連続で2桁の伸びを維持している。輸出を主要仕向け地別にみると、米中向けが減速したものの、スイス向けは大幅に加速し、オーストラリア向けも大幅なプラスに転じた。また主力産業の自動車の生産台数も前年比+9.9%と3か月連続で増加し、企業景況指数も52.2と5か月連続で中立水準の50を上回った。次に家計部門では、個人消費指数は前月比+1.1%と、自動車など耐久財消費の堅調な増加などにより、5か月連続で上昇している。



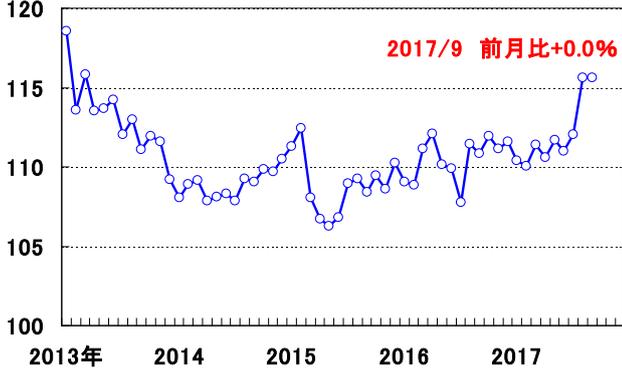
【今月のトピック:米国の為替操作報告書はタイへの言及なし】 10月に、米財務省は貿易相手国による為替操作を調査した外国為替報告書を公表した。「監視リスト」の3つの基準のうち、2016年のタイの実績値は経常黒字と為替介入の2つが基準に抵触しており、米国の対応が注目を集めていた。結果的に、「監視リスト」に指定された国は日本や中国など5か国とされ、タイはリストアップされなかった。ただし、10月2日に実施された米タイ首脳会談で、トランプ大統領はタイとの貿易赤字問題について言及している。タイは「監視リスト」入りを免れたものの、対米貿易摩擦には警戒が必要であるといえよう。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

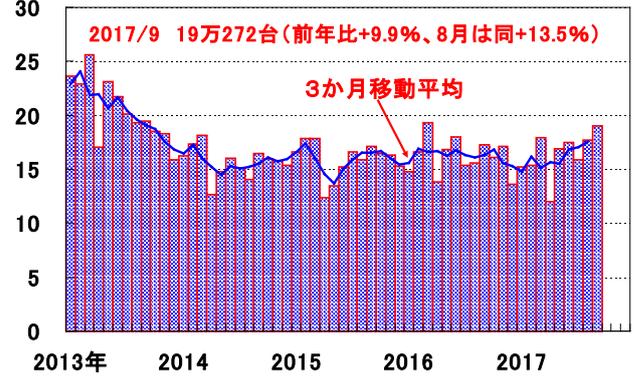
季調済
2000年=100

工業生産指数

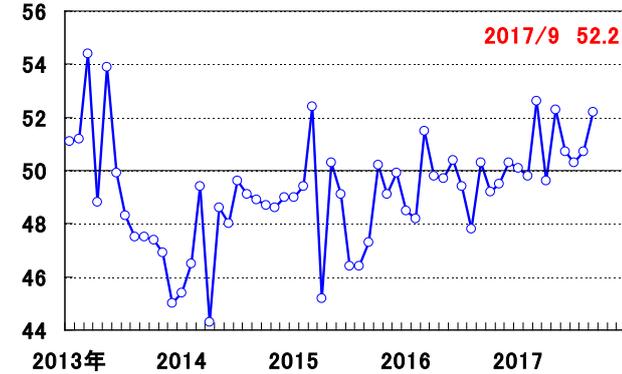


万台

自動車生産台数



中立水準=50 企業景況指数(BSI)



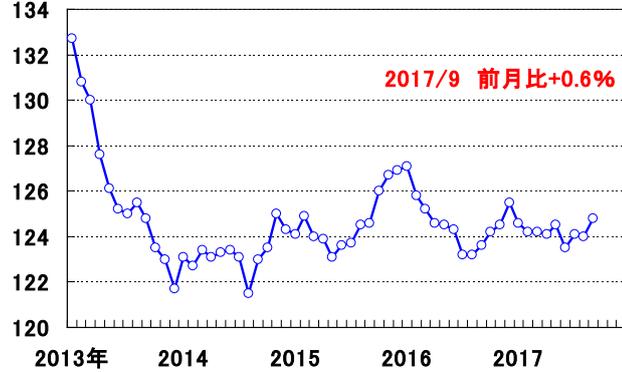
季調済
2000年=100

個人消費指数



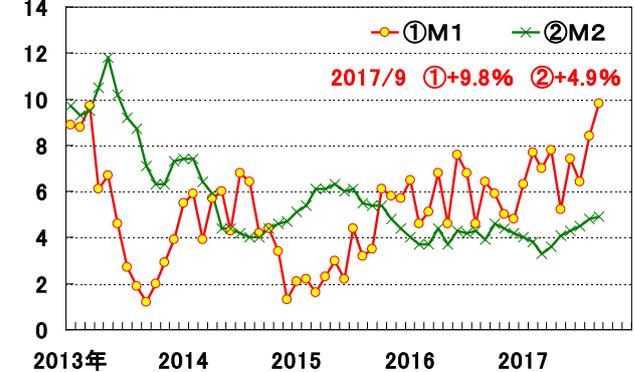
季調済
2010年=100

民間投資指数



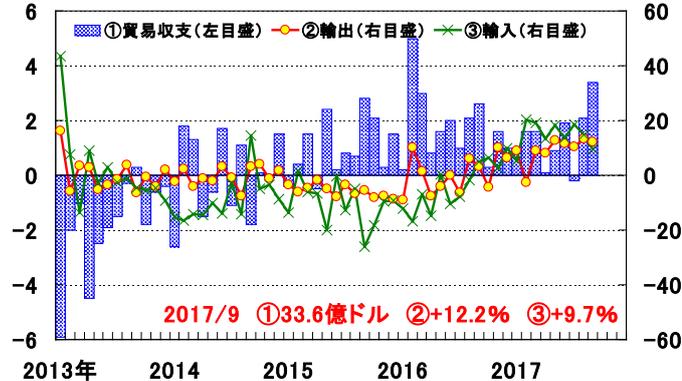
前年比、%

マネーサプライ



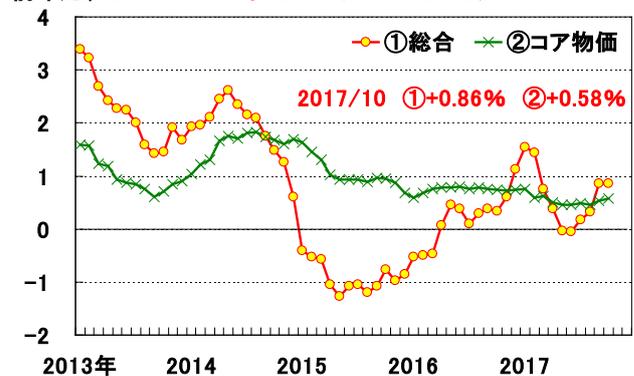
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (F T I)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。